平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月29日

上場会社名　株式会社 エクセディ　　上場取引所　東 大
コード番号　7278　URL　http://www.exedy.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 清水　春生
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務企画本部長　(氏名) 豊原　浩　TEL 072-822-1152

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日　配当支払開始予定日　平成24年11月26日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	102,206	3.1	7,893	△8.9	7,514	△1.6	4,422	△1.8
24年3月期第2四半期	99,132	1.8	8,665	△24.8	7,637	△30.2	4,504	△33.3

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　4,752百万円　(0.2%)　24年3月期第2四半期　4,745百万円　(△22.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	91.83	―
24年3月期第2四半期	93.29	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	177,365	125,417	66.5	2,448.09
24年3月期	176,038	122,041	65.3	2,386.53

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　117,920百万円　24年3月期　114,938百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	25.00	―	25.00	50.00
25年3月期	―	25.00			
25年3月期(予想)			―	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	△1.0	15,000	△10.6	14,000	△13.5	8,000	△13.2	166.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	48,593,736 株	24年3月期	48,593,736 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	425,374 株	24年3月期	432,245 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	48,164,324 株	24年3月期2Q	48,285,021 株

(注)平成25年3月期第2四半期の期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)については「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式92,400株を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる仮定及びご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10
（７）重要な後発事象 …… 11
５．補足情報 …… 12
（ご参考）所在地別の概況 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期におきましては、アジア地域において一時的な受注の鈍化がみられるものの、国内及び米国でのＡＴ製品の受注が堅調に推移し、売上高は増加いたしました。しかしながら、利益面におきましては、販売構成の変化や、アジア地域を中心とした労務人件費の増加等利益圧迫要因があり、その結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高 １,０２２億円（前年同期比 ３．１％増）、営業利益 ７８億円（前年同期比 ８．９％減）、経常利益 ７５億円（前年同期比 １．６％減）、四半期純利益 ４４億円（前年同期比 １．８％減）となりました。

（セグメント情報）

報告セグメントの種類別の概況は下記のとおりであります。

〔ＭＴ（手動変速装置関連事業）〕

国内自動車メーカーからの受注増加により、売上高は ２９８億円（前年同期比 ２．６％増）となりました。セグメント利益は、販売構成の変化及び労務人件費等固定費の増加により、４３億円（前年同期比 ７.５％減）となりました。

〔ＡＴ（自動変速装置関連事業）〕

国内及び米国の自動車メーカーからの受注増加により、売上高は ６１３億円（前年同期比 ４．９％増）となりました。セグメント利益は、売上高の増加や前年の震災関連ロスの解消により ３３億円（前年同期比 ５.４％増）となりました。

〔その他〕

２輪用クラッチの受注減少により、売上高は １１０億円（前年同期比 ４．６％減）となりました。セグメント利益は、売上高の減少及び労務人件費等の増加により ６億円（前年同期比 ５０．５％減）となりました。

所在地別の概況は下記のとおりであります。

〔日本〕

自動車メーカーからのＭＴ及びＡＴ製品の受注が堅調に推移し、売上高は ６４４億円（前年同期比 ０．８％増）となりました。営業利益は、前年の震災関連ロスの解消はあるものの販売構成の変化や販売単価の下落により ４４億円（前年同期比 １５．４％減）となりました。

〔米国〕

自動車メーカー向けのＡＴ製品及びＭＴ補修品の受注増加により、売上高は １５７億円（前年同期比 １８.４％増）となりました。営業利益は、売上高の増加により ７億円（前年同期比 ２２.５％増）となりました。

〔アジア・オセアニア〕

主に二輪用クラッチの受注減少により、売上高はほぼ前期並みの ２０２億円（前年同期比 １.０％減）となりました。営業利益は、減価償却費や労務人件費等固定費の増加により ２５億円（前年同期比 １２.６％減）となりました。

〔その他〕

売上高は １７億円（前年同期比 ２２.７％増）、営業利益は １億円（前年同期比 ３.４％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は １,７７３億円となり、前連結会計年度末に比べ １３億円増加いたしました。主な内容は、有形固定資産の増加 ４４億円、現金及び預金の減少 ２８億円、受取手形及び売掛金の減少 １０億円であります。負債は ５１９億円となり、前連結会計年度末に比べ ２０億円減少いたしました。主な内容は、支払手形及び買掛金の減少 ２７億円であります。純資産は１,２５４億円となり、前連結会計年度末に比べ ３３億円増加いたしました。主な内容は、利益剰余金の増加 ３２億円（四半期純利益による増加 ４４億円、剰余金の処分（配当金）による減少 １２億円）であります。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の ６５.３％から ６６.５％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第３四半期以降、中国など新興国市場の経済成長鈍化により、受注が当初計画を下回る見込まれることから、平成24年４月27日付で公表いたしました平成25年３月期の業績予想を下記の通り修正しております。

（連結：通期）

	売上高（百万円）	営業利益（百万円）	経常利益（百万円）	当期純利益（百万円）	１株当たり当期純利益（円）
前回発表予想（Ａ）	210,000	16,500	16,000	9,000	186.61
今回修正予想（Ｂ）	200,000	15,000	14,000	8,000	166.08
増減額（Ｂ－Ａ）	△10,000	△1,500	△2,000	△1,000	－
増減率（％）	△4.8	△9.1	△12.5	△11.1	－
前期実績	201,931	16,783	16,176	9,221	191.21

（ご参考）

（個別：通期）

	売上高（百万円）	営業利益（百万円）	経常利益（百万円）	当期純利益（百万円）	１株当たり当期純利益（円）
前回発表予想（Ａ）	110,000	6,000	8,000	5,000	103.67
今回修正予想（Ｂ）	105,000	5,000	7,000	5,000	103.80
増減額（Ｂ－Ａ）	△5,000	△1,000	△1,000	－	－
増減率（％）	△4.5	△16.7	△12.5	－	－
前期実績	111,505	6,550	8,501	4,856	100.69

※　為替レートにつきましては、当第２四半期連結累計期間実績１米ドル79円49銭に対し、通期で１米ドル79円を想定しております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第２四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であるクロイドンの株式を追加取得したことにより、同社を持分法適用関連会社から連結子会社へ変更しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（たな卸資産の評価方法の変更）

当社及び連結子会社における、貯蔵品を除くたな卸資産の評価方法は、従来、主として先入先出法によっておりましたが、第１四半期連結会計期間から移動平均法に変更しております。この変更は、市場における原材料価格の変動等により受ける影響を平準化し、より適切な期間損益計算を行うとともに、当社グループの会計処理方法の統一化を目的として、親会社におけるシステム変更を契機に行ったものであります。

当該会計方針の変更は、前連結会計年度までの先入先出法による単価情報をシステム上移動平均法により再計算することが実務上不可能なため、前連結会計年度末のたな卸資産の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として、期首から将来にわたり移動平均法を適用しております。

なお、当該変更によるたな卸資産及び各段階損益に与える影響は軽微であります。

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、当該変更による減価償却費及び各段階損益に与える影響は軽微であります。

会計上の見積りの変更

（耐用年数の変更）

当社及び連結子会社は、当社グループのグローバル展開の進展を踏まえ、同種かつ同一条件下で使用される有形固定資産について物理的耐用年数及び製品寿命等の経済的耐用年数を総合的に考慮して耐用年数を見直しております。

この変更により、従来の耐用年数によった場合と比べて、当第２四半期連結累計期間の減価償却費が 46百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ 41百万円減少しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,005	25,122
受取手形及び売掛金	39,534	38,527
商品及び製品	9,664	9,510
仕掛品	5,046	5,828
原材料及び貯蔵品	7,173	7,980
繰延税金資産	2,789	2,813
短期貸付金	568	518
その他	3,444	2,670
貸倒引当金	△88	△90
流動資産合計	96,138	92,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,333	24,079
機械装置及び運搬具（純額）	27,498	30,116
土地	8,523	8,952
建設仮勘定	7,510	8,726
その他（純額）	3,224	3,715
有形固定資産合計	71,091	75,590
無形固定資産	2,762	2,896
投資その他の資産		
投資有価証券	2,509	2,067
長期貸付金	123	312
繰延税金資産	1,850	2,065
その他	1,605	1,590
貸倒引当金	△43	△38
投資その他の資産合計	6,045	5,996
固定資産合計	79,899	84,483
資産合計	176,038	177,365

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,235	14,453
短期借入金	5,701	4,992
1年内償還予定の社債	－	126
未払費用	6,599	6,871
未払法人税等	1,700	2,041
製品保証引当金	596	458
その他	5,653	4,857
流動負債合計	37,487	33,801
固定負債		
社債	7,000	7,008
長期借入金	2,837	4,608
長期未払金	678	687
繰延税金負債	1,204	1,273
退職給付引当金	4,525	4,290
役員退職慰労引当金	4	－
資産除去債務	26	26
その他	232	252
固定負債合計	16,509	18,146
負債合計	53,996	51,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,284	8,284
資本剰余金	7,540	7,540
利益剰余金	109,607	112,816
自己株式	△1,180	△1,161
株主資本合計	124,252	127,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	435	334
為替換算調整勘定	△9,749	△9,894
その他の包括利益累計額合計	△9,313	△9,559
少数株主持分	7,102	7,496
純資産合計	122,041	125,417
負債純資産合計	176,038	177,365

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （平成23年４月１日から 平成23年９月30日まで）	当第２四半期連結累計期間 （平成24年４月１日から 平成24年９月30日まで）
売上高	99,132	102,206
売上原価	79,090	81,411
売上総利益	20,041	20,795
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,587	2,833
製品保証引当金繰入額	28	113
役員報酬及び給料手当	3,011	3,450
退職給付費用	51	40
役員退職慰労引当金繰入額	1	－
研究開発費	2,207	2,045
その他	3,488	4,419
販売費及び一般管理費合計	11,375	12,902
営業利益	8,665	7,893
営業外収益		
受取利息	47	105
受取配当金	12	21
持分法による投資利益	－	53
その他	329	296
営業外収益合計	390	476
営業外費用		
支払利息	198	224
社債利息	－	21
為替差損	940	375
持分法による投資損失	45	－
その他	233	233
営業外費用合計	1,418	855
経常利益	7,637	7,514
特別利益	－	－
特別損失		
投資有価証券評価損	－	169
特別損失合計	－	169
税金等調整前四半期純利益	7,637	7,344
法人税、住民税及び事業税	2,383	2,525
法人税等調整額	185	△97
法人税等合計	2,569	2,427
少数株主損益調整前四半期純利益	5,067	4,917
少数株主利益	563	494
四半期純利益	4,504	4,422

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （平成23年４月１日から 平成23年９月30日まで）	当第２四半期連結累計期間 （平成24年４月１日から 平成24年９月30日まで）
少数株主損益調整前四半期純利益	5,067	4,917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	△101
為替換算調整勘定	△266	△62
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	－
その他の包括利益合計	△322	△164
四半期包括利益	4,745	4,752
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,288	4,173
少数株主に係る四半期包括利益	456	579

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （平成23年４月１日から 平成23年９月30日まで）	当第２四半期連結累計期間 （平成24年４月１日から 平成24年９月30日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,637	7,344
減価償却費	5,726	5,605
固定資産除売却損益（△は益）	20	14
貸倒引当金の増減額（△は減少）	5	△9
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△278	△315
受取利息及び受取配当金	△60	△126
支払利息	198	246
売上債権の増減額（△は増加）	△3,970	1,270
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,009	△961
仕入債務の増減額（△は減少）	82	△3,229
その他	206	△72
小計	10,576	9,766
利息及び配当金の受取額	89	171
利息の支払額	△213	△264
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△4,174	△1,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,277	7,770
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5	△14
定期預金の払戻による収入	183	7
有形固定資産の取得による支出	△6,549	△9,833
有形固定資産の売却による収入	53	28
無形固定資産の取得による支出	△1,248	△436
投資有価証券の取得による支出	△4	△10
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	－	100
関係会社株式の取得による支出	△255	△21
貸付けによる支出	△138	△76
貸付金の回収による収入	97	210
保険積立金の解約による収入	1	61
その他	△46	386
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,911	△9,597
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△201	922
長期借入れによる収入	894	638
長期借入金の返済による支出	△128	△795
社債の償還による支出	－	△17
自己株式の取得による支出	△377	△0
配当金の支払額	△1,449	△1,206
少数株主への配当金の支払額	△86	△377
少数株主からの払込みによる収入	255	9
リース債務の返済による支出	△11	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,103	△842
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	△221
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,727	△2,891
現金及び現金同等物の期首残高	30,037	27,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,310	25,031

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
著しい変動がないため、記載しておりません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（平成23年４月１日から平成23年９月30日まで）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他（百万円）（注１）	合計（百万円）	調整額（百万円）（注２）	四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注３）
	ＭＴ（百万円）	ＡＴ（百万円）	計（百万円）				
売上高							
外部顧客への売上高	29,048	58,504	87,553	11,579	99,132	－	99,132
セグメント間の内部売上高又は振替高	177	1,220	1,398	4,857	6,255	(6,255)	－
計	29,226	59,724	88,951	16,436	105,387	(6,255)	99,132
セグメント利益	4,731	3,206	7,937	1,239	9,177	(511)	8,665

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械用駆動伝導装置事業、２輪用クラッチ事業、運送業等を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額 △511百万円には、セグメント間取引消去 126百万円、のれんの償却額 △64百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △434百万円及びその他の調整額 △138百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新製品開発費であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。
（のれんの金額の重要な変動）
各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。
（重要な負ののれん発生益）
各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（平成24年４月１日から平成24年９月30日まで）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他（百万円）（注１）	合計（百万円）	調整額（百万円）（注２）	四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注３）
	ＭＴ（百万円）	ＡＴ（百万円）	計（百万円）				
売上高							
外部顧客への売上高	29,814	61,345	91,160	11,046	102,206	－	102,206
セグメント間の内部売上高又は振替高	119	1,026	1,145	3,640	4,786	(4,786)	－
計	29,934	62,371	92,306	14,687	106,993	(4,786)	102,206
セグメント利益	4,374	3,379	7,754	613	8,367	(474)	7,893

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械用駆動伝導装置事業、２輪用クラッチ事業、運送業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額 △474百万円には、セグメント間取引消去 92百万円、のれんの償却額 △60百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △537百万円及びその他の調整額 30百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新製品開発費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

（耐用年数の変更）

当社及び連結子会社は、第１四半期連結会計期間より有形固定資産の耐用年数を変更しております。この変更により、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第２四半期連結累計期間のセグメント利益は、報告セグメントの「ＭＴ」で 45百万円、「ＡＴ」で 11百万円減少し、「その他」で 15百万円増加しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。

５．補足情報

（ご参考）所在地別の概況は下記のとおりであります。

・前第２四半期連結累計期間（平成23年４月１日から平成23年９月30日まで）

	日本（百万円）	米国（百万円）	アジア・オセアニア（百万円）	その他（百万円）	計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	63,918	13,317	20,506	1,390	99,132	－	99,132
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	11,598	133	4,154	23	15,909	(15,909)	－
計	75,516	13,450	24,660	1,413	115,041	(15,909)	99,132
営業利益	5,277	604	2,878	110	8,870	(205)	8,665

・当第２四半期連結累計期間（平成24年４月１日から平成24年９月30日まで）

	日本（百万円）	米国（百万円）	アジア・オセアニア（百万円）	その他（百万円）	計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	64,446	15,761	20,291	1,706	102,206	－	102,206
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	11,916	193	4,666	23	16,800	(16,800)	－
計	76,363	15,955	24,958	1,730	119,006	(16,800)	102,206
営業利益	4,462	741	2,516	106	7,826	66	7,893

（注）上記は、従来の「所在地別セグメント情報」と同様の基準及び方法で作成されたものであり、あくまで参考情報としての記載であります。